

2023年賀詞交歓会

開催日：2023年1月20日(金)
神情協事務局

昨年、一昨年とコロナ禍で中止を余儀なくされた賀詞交歓会が、今年は横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ日輪の間で行政各団体、関東近県の友好団体、会員企業など総勢約350名が一堂に会し、盛大に開催されました。冒頭に神情協の坂井満会長が挨拶。「コロナ禍で非接触や非密集の世の中



に変わる中、ITは不可欠。技術を磨き、地域に貢献することが大切。神情協は会員企業の垣根を越え最先端の技術研修を開催。また大学の出前講座では技術を教え、エンジニアの育成活動をしている。

その他フットサルや

地引網などの交流活動もあるので、是非参加していただき協会活動を盛り上げてほしい」と力強くPRされました。

来賓の祝辞では、黒岩祐治神奈川県知事から「この2年はコロナに追いまわされたが、医療提供対策神奈川モデルを作り、神奈川がコロナ対策をリードしてきた。できない尽くしの3年間にどれだけITの力を実感したことか。接触できない中でも普通に仕事や会議ができる、まさにITがこの危機を救った。出口が見えてもこれらが変わることはなく、デジタルの恩恵を被り、自らが命輝くような時代を作っていける。皆さんのパワーがもっと期待される。力を合わせながら新しい時代を作って行きたい」と話されました。続いて経済産業省の小川宏高企画官より「ITが国民生活、産業活動の礎と

なるということに関しては論を俟たないが、一方でグローバルな競争力では日本の地位の低下が囁かれている。経済産業省では、企業のDX推進に必要な施策プロジェクトを進めていく。是非ご支援賜りたい」と述べられました。



中山いその副会長の乾杯の発声で交流がスタート。中盤のアトラクションでは寂空（JACK）さんの津軽三味線と神永大輔さんの尺八の演奏で会場は盛り上がり、前山浩志副会長の締めの挨拶で賀詞交歓会はお開きとなりました。



テクニカルショウヨコハマ2023に神情協会員が出展しました

開催日：2023年2月3日(金)
神情協事務局

横浜みなとみらい地区パシフィコ横浜で、2月1日（水）から3日間の日程でテクニカルショウヨコハマ2023が開催されました。テクニカルショウヨコハマ2023は最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市で、技術・製品の販路拡大、ビジネスチャンスの創出、地域産業の振興を図ることを目的としています。

今回出展企業は759社、来場者数はリアルでは15,827名とのことです。

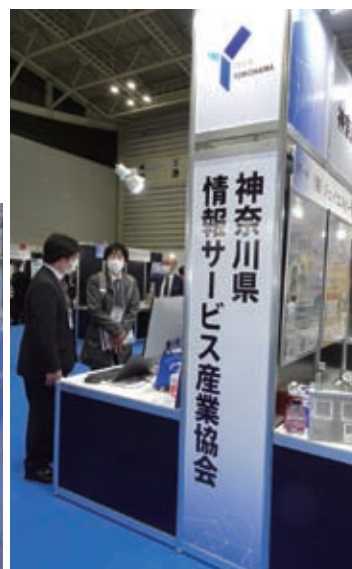
神情協は本事業を後援しており、I・TOP横浜ゾーン内に、神情協会員企業枠で以下の6社に出展いただきました。

株式会社エイ・シー・ティ、株式会社CIJ、株式会社ジェイエスピー、新明和ソフトテクノロジー株式会社、株式会社哲英、株式会社メディノス。

神情協では、このイベントを毎年9月頃に市内外の会員企業向けに出展枠で出展希望企業を募集しております。神情協

出展枠では出展費は無料となります。ぜひ来年度の出展をご検討いただけましたら幸いです。

事務局



第66回神情協ビジネス・フォーラム

開催日：2022年10月20日(木)
企業経営委員会

第66回ビジネス・フォーラムは、神情協単独でホテルプラムにおいて開催されました。会場参加者73名、Zoomによるオンライン参加者5名で実施しました。事業強化・拡大により社員の給料アップを実現し物価上昇に対抗しようとの坂井会長の挨拶で第一部が始まり、商談発表は株式会社トラスコム（ISMSコンサルティングサービス）、株式会社データプロセスサービス（2023年度新入社員研修）、株式会社電子工学センター（AI防災・危機管理ソリューション）、株式会社東計電算（クラウド型アルコールチェックシステム）、株式会社ネオジャパン（クラウド対応グループウェア）、株式会社哲英（M&A・事業継承支援サービス）の全6社による発表が行われました。事業基盤の強化につながる紹介（ISMS、新入社員教育、グループウェア）、事業継続につながる紹介（防災・危機管理、アルコールチェック、

事業継承）、事業拡大につながる紹介（M&A）と、冒頭の坂井会長のお言葉に関連したこともあり、会場内参加者は興味深く真剣に聞き入っていました。

第二部は、当節恒例となった着座式での懇親会を行いました。守屋委員長による新規会員6社、ゲスト企業1社の紹介があり、その後名刺交換会を実施しました。第7波が終息に向かい感染症防止対策は法によらない働きかけに緩和されましたが、感染症防止に留意しつつ活気のあるビジネス・フォーラムとなりました。

株式会社ビジネスランド 川村計志



経理実務担当者・事業者様必見～今から押さえるべき「インボイス制度」について～

開催日：2022年10月25日(火)
企業経営委員会

今から押さえるべき「インボイス制度」についてのセミナーが開催されました。

会場の都合上オンラインでの参加が多数でしたが、ピーシーエー株式会社浦川貴成さんによる発表はわかりやすく大変参考になったというアンケート結果が92%を超えました。

インボイス制度は適格請求書等保存方式のことで、令和5年（2023年）10月1日にスタートする消費税の仕入税額控除に関する新しい仕組みです。制度の目的としては、取引の消費税額を正確に把握し申告納付することになります。

消費税の仕入税額控除を適用するには、定められた事項を記載した「インボイス」とよばれる「適格請求書」の発行や保存が必要になり、適格請求書に対応していない従来の請求書では仕入税額控除が適用されません。

適格制度の開始と同時に適格請求書を発行するためには、2023年3月31日までに適格請求書発行事業者の登録申請をする必要があります。

ご紹介いただいた『PCA 商魂・商管 シリーズ』はインボイス制度で義務化される請求書控保存の法的要件を満たしたデータ保存ができ、請求書控えのペーパーレスでの管理・運用ができるということです。

商品のライセンス金額は同時起動数のみ、1契約で複数法人の管理が可能。価格は月額15,800円～とのこと。詳しくは直接お問い合わせください。

株式会社日本エイジェンシー 鈴木貴司



第25回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会

開催日：2022年10月28日(金)
産学連携委員会

ホテルザノット横浜で第25回神奈川県私立大学就職研究会（以下、研就研）と神情協との情報交換会が開催されました。今年はいよいよ、全面的に対面の開催となりました。（一部ハイブリッド、参加大学21校、参加企業46社）神情協の坂井会長、県就研の松本会長による開会挨拶により第一部報告会が開始されました。

県就研からの報告では、2023年卒の学生の内定率は6～9割と学校によってばらつきがあるようでした。3年生10月時点で内々定を獲得する方がいる一方、4年生で活動を継続中という方もおり、二極化

が進んでいるようです。『学内イベント参加者は例年の半分』という学校もあり、就職活動の多様化や早期化等の現実がうかがえました。『就職活動を頑張っている姿を友人に見せたくない』学生も増えているとか……。社会人人生の大事なスタートのために、是非がむしろに頑張ってもらいたいものです。

授業が対面に戻ってきている24卒生について、感染症ピーク時に比べ「オンラインに慣れていない」方が増えたという意見もありました。学生は皆オンライン慣れしていると思われがちですが、コロナ禍の学生背景は毎年微妙に異なるため、入社後にはきめ細やかに教育研修を行う必要があるそうです。

二部の懇親会は着席スタイルで行われ、ゆっくりと食事を楽しんだ後、名刺交換で活発なコミュニケーションが取られました。各校の取り組みや特徴を理解し、温まった場で意見交換ができる大変貴重な機会となりました。

株式会社アイネット 高野麻里



「メンタル対策における長引くコロナ禍での健康管理」セミナー

開催日：2022年12月2日(金)
労働福利委員会

産業医・労働衛生コンサルタント・医学博士である株式会社さくら事務所の山越代表に講演いただきました。

「産業医の業務」から始まり、「最新のメンタルヘルス事情」「管理者によるケア方法」やコロナ禍で増えている「リモートワークにおけるメンタルヘルス事例」と「リモートワークで生活習慣病が悪化した事例」についても、実例を基に盛りだくさんのご説明をいただきました。特に「メンタル不調は時間外労働の長さとは無関係に発生する」とのこと、自身が今までよくメディアを通して見聞きしていた「メンタル不調は時間外労働との関係性大」という情報が覆されるなど、非常に興

味深い内容でした。メンタル不調を抱えた方へどのように声掛けをすべきか・休職中の方への対応など、実際の行動についても説明があり、小員は管理者ではないですが、周りにそういった方がいらした際にどのように対応すべきか大変参考になりました。

参加者のみなさんからたくさんの質問が寄せられ、関心度の高さを伺えるセミナーでした。

株式会社バリュー・エージェンシー 小林加奈子



女性次世代リーダー研修会

開催日：2022年11月16日(水)
女性活躍ダイバーシティ委員会

昨年に引き続き、株式会社WOMAN COLLEGEの黒田佳菜子さんを講師に招き3日間の研修を行いました。19名の受講者のうち、約半数が会場に集合し、楽しい時間となりました。

1日目は多様性や男女の差について講義いただき、男女平等というよりそれぞれの特性を活かした社会（会社）が求められていると聞いて、男性と同じように仕事をするのが平等ではないと知り、目から鱗の心境でした。

2日目はゲームを行いました。2つの会社を設立し、より利益を上げたほうが勝利するゲームです。最初は経験がないため右往左往し赤字でしたが、経験を積み黒字になってきます。さらに役職問わず（社長を含め）積極的に営業や生産工程を行うと大きな利益を生み出す結果となりました。役職に捕らわれず自分ができる事を積極的に行うことで、会社を大きくできる

喜びを感じることができました。

3日目は新たに株式会社WOMAN COLLEGEの大谷恭子さんも講師に加わり、各自の将来像を描きました。グループディスカッションで皆さんの目標を聞き、とても刺激を受けました。

次年度も同様に開催したいと思いました。

株式会社第一コンピュータサービス 坂巻留美



第17回横浜ITフォーラム2022

開催日：2022年11月24日(木)
横浜市交流委員会

第17回横浜ITフォーラム2022が、「今さら？ 否、今だからこそ聴きたいサイバーセキュリティ」と題して開催されました。講演の第1部は、三井物産セキュアディレクション株式会社の関原優さんから「サイバーセキュリティの最新動向」として、ランサムウェアの脅威、そしてCONTI、LOCKBITなどのハッカー集団の存在について紹介されました。また、最近の傾向として、侵入経路はリモート接続機器経由が非常に多いとのお話がありました。その後の第2部は、八雲法律事務所



所の山岡裕明弁護士は「ランサムウェアと経営者責任」と題し、ランサムウェア感染時の身代金の要求や、その

際の経営者の責任追及について、参加した経営者が身の凍るような話を弁護士目線で語られました。その一方で、昨今のIT業界においては、サイバーセキュリティはHOTなビジネスチャンスであることに着目されていました。第3部は、神奈川県警サイバーセキュリティ対策本部の大和弘路さんから「サイバー攻撃を受けた際の対応」として、実際に被害にあった場合には、とにかく警察に通報してほしいとのことで、現在は各県警だけではなく、警察庁として国で対応する体制ができているそうです。

その後、場所を移して開催された交流会の中でもサイバーセキュリティについて積極的な意見交換が行われ、有意義な本フォーラムは幕を閉じました。（参加者はフォーラム現地とWebをあわせて170名、交流会は50名でした）

アドバンスドプランニング株式会社 今井一範



オンラインゲームによる交流会

開催日：2022年11月30日(水)
女性活躍ダイバーシティ委員会

女性活躍ダイバーシティ委員会では、同業界で働く社員同士の交流イベントとして、コードネームというオンラインゲームを使用して交流会を開催しました。参加者は5チーム17名、「コードネーム」をやるのは初めてという方も多くいました。



ルールは簡単！ヒントを頼りに自分のチームのワードを当てるゲームです。ワードのヒントを出すのは「スパイマスター」、ワードを当てるのは「課報員」。25枚のワードの中からヒントを頼りに、自分のチームのワードを多く獲得したチームの勝ちとなります。

当日は3ゲーム実施。チーム対抗戦のほか、メンバーをシャッフルして対戦し、他社の参加者との交流を深めました。ゲーム中、最初のヒントでブラックカード（ジョーカー）を引き当ててしまった強運の持ち主がいたり、年配の方の出したヒントが若い方には通じないなどジェネレーションギャップがあったりと、大変盛り上がりました。

最後には「ベストスパイマスター」「ベスト課報員」として3名の方を発表し、初の試みのオンラインゲームによる交流会は和やかな雰囲気のまま無事に終了しました。

以下、受賞された方の感想。

◎ベストスパイマスター 井上慶彦さん(Team BAN!!)

スパイマスターとしてミスしてしまうことがあったが、それ以上に楽しむことができました。今後も時間が合えば積極的に参加します。

◎ベスト課報員 武田瀬里枝さん(ひよこ組)

最初は緊張したもの、盛り上げ上手なスタッフの皆様のおかげで、楽しく参加することができました。他社の面白い方々ともお話できる機会は他になかったため、今回このゲーム交流会を開催してくださったことに対しても感謝しております。

◎ベスト課報員 深津将矢さん(TMCゲーム部)

私はゲームの勝敗も大切だと思いますが、交流をメインに考えていました。ガヤを飛ばして相手チームの方と交流を図ることができるゲームを企画してくださり、とても感謝しています。

事務局



■最終結果

優 勝	株式会社アイネット
準 優 勝	シンボー情報システム株式会社
三 位	株式会社ネオジャパン
三 位	日本電気株式会社



優 勝
アイネット



準優勝 シンボー情報システム

■決勝戦 シンボー情報システム 対 アイネット

初回、アイネットの金城さんがレフト・センター間に大飛球を放ち、これがランニングホームランとなり幸先よく先制します。4回、シンボー情報システムも相手のミスとワイルドピッチに乗じて同点に迫いつき試合を振り出しに戻します。中盤まで一進一退の展開のなかどちらが先に抜け出すのかというところで、5回に今度はアイネットが相手のミスとワイルドピッチによって勝ち越し、6回にもアイネットの金城さんがセンター後方へダメ押しの2点タイムリースリーベースヒットを放つなど、5対1でアイネットが優勝を決めました。シンボー情報システム先発投手の森田(光)さんは疲れが見えた後半に得点を許しましたが、粘り強い投球が光りました。大会MVPはホームラン含め3打点の活躍を見せたアイネットの金城さんが受賞されました。

株式会社アイネット 新城義人

神情協 学生ITコンテスト2022最終選考・発表会

開催日：2022年11月15日(火)
産学連携委員会

8回目を迎えた学生ITコンテスト2022最終選考・発表会は、過去最多の77作品のエントリーがありました。第1次、第2次審査で選ばれたITプロダクツ部門、ビジネス企画部門の両部門合わせて14作品の発表をホテルプラムヨコハマで実施しました。昨年に引き続き、会場人数制限を行いつつウェビナーでの配信も行い、会場出席者は学生・学校関係者・協会会員および審査員併せて約80名が見守る中、最終プレゼンが行われました。

各発表者が緊張する中、ビジネス部門は「ロードマップ」「開発・運用コスト」「マネタイズ」等をシミュレーションした発表でアピールしていました。一方、ITプロダクツ部門は、動画でシステムの動きや概要をアピールして見ごたえのある発表でした。

16名の審査員の意見は割れましたが、厳正なる審査の結果、優秀

賞は、ビジネス企画部門から「ハロマカ(誰でも生産性向上新農業システム)／早稲田文理専門学校」、ITプロダクツ部門から「aipoc(体調管理AI)／岩崎学園情報科学専門学校」、最優秀賞はビジネス企画部門から「のりMaaS／中央大学」が選ばれました。コロナ禍における企業向けのアイデアで、審査員からも様々な質問があり盛り上がるのと同時に、今後の学生の成長に期待が持てる内容でした。

株式会社アクロイト 田村孝章



最優秀賞



優秀賞 ITプロダクツ部門



優秀賞 ビジネス部門

神情協大クリスマスパーティー2022

開催日：2022年12月21日(水)
企業経営委員会

賑わいを取り戻しつつある横浜の夜。若手社員の交流の場、企業経営委員会主催の「神情協大クリスマスパーティー2022」がホテルプラム横浜において約100名参加で開催されました。佐藤実行委員長の指揮のもと、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら直前まで最善の開催形式を検討し、着座形式でその他適切な感染症対策を施した中での開催でした。

坂井会長の開会挨拶から始まり、守屋委員長「メリー・クリスマス」の発声で乾杯。大指理事が扮する「DJサッシー」のセンスあふれるBGM、富澤さんと石川さんの初司会とは思えないスムーズな進行でパーティーは段々と盛り上がりを見せました。

2種類のゲーム企画、イントロゲームと謎解きがテーブル対抗で行われ、各テーブルが優勝目指して団結し、ますます盛り上がって行きました。そして最高潮は「お楽しみ抽選会」。会員企業など43社から協賛品をいただき、参加者全員に行き渡る数が集まりました。これを抽選でプレゼントし、参加者は豪華賞品を笑顔で受け取りました。

各企業の若手社員を中心に集まったパーティーは大盛況のうちに幕を閉じました。参加者の明るく元気で楽しい様子を見て、以前の活気は完全に復活し、神情協会員企業の未来は明るいとの確信を得たイベントでした。

株式会社ビジネスランド 川村計志



第11回フットサル大会

開催日：2022年11月12日(土)
労働福利委員会

コロナ禍で開催中止が続いていたフットサル大会が、3年ぶりに『かもめパーク』で開催されました。出場チームは22チームと3年前の前回大会より少なめではありましたが、待ちに待ったフットサル大会ということで、予選リーグより盛り上がる試合がお昼過ぎまで続きました。午後からの決勝トーナメントでは、予選リーグを見事突破した12チームによる、晩秋とは思えない当日の日差しのような熱戦が続き、最後の決勝戦まで進んだのは、2年連続、大会の覇者である株式会社アイネットと、前々回大会準優勝のNTTデータフォース株式会社の常勝2チームとなりました。まさに手に汗握る緊迫したゲームが続く中、終了のホイッスルが鳴りやんだ時、勝利の女神がほほ笑んだのは、2-0でNTTデータフォース株式会社でした。また、MVPにはNTTデータフォース株式会社の栗原彰平さんが選出されました。

【結果】優勝：NTTデータフォース株式会社
準優勝：株式会社アイネット
3位：NTTテクノクロス株式会社
4位：株式会社アイネットII

株式会社インカレージ 至田勝紀



優勝 NTTデータフォース



準優勝 アイネット

第8回アプリケーションコンテスト発表・審査会

開催日：2023年1月26日(木)
技術委員会

技術委員会主催による第8回アプリケーションコンテスト発表・審査会が行われました。今回は3年ぶりの会場発表となりました。Zoomによるオンライン配信も行い、リアルとオンラインのハイブリット開催で多数の聴講者に参加して頂きました。新型コロナウイルスを克服し新たな日常が少しずつ切り開かれて行くのを感じるイベントとなりました。

今年は昨年を上回る6社、6チームに参加を頂き、聴講者も技術委員会メンバー以外の一般参加や先端技術研究会の方々など、幅広い層に参加して頂きました。会場発表ならではの緊張感の中で各チーム熱心なプレゼンテーションを行いました。質疑応答も非常に活発で、極めて盛況な発表・審査会となりました。

本業がある中で限られた時間でのアプリ開発であったと思いますが、各チームとも楽しいテーマで世の中の課題をITで解決する、とても実用的なアプリケーションばかりでした。生活の中のちょっとした課題が改善されると非常に住みやすい世の中になると思います。

技術委員会メンバーによる一般審査、昨年に引き続きご後援を頂いた横浜市様、川崎市様を含めた特別審査員による最終審査を経て、以下が表彰対象となりました。各チームのコメントとともに紹介します。

最優秀賞 オーディナリティー感謝祭 株式会社エルテックス
(スマホで参加できる、みんなで盛り上がる全員参加型クイズアプリ)

各自のスマホを回答ボタン代わりに使用することで、多人数が同時に参加するクイズ大会を簡単に運営できるプラットフォームアプリを開発しました。Google提供のFirebaseを使用することで低価格、低遅延を実現することができました。

今回、会場発表で大分緊張しましたが無事にプレゼ



最優秀賞 エルテックス

ンテーションできて良かったです。日々の生活でみなさん大変苦労されていると思うので、楽しい宴会を演出できるアプリを作りたいというコンセプトで開発しました。神情協のイベントでも使って頂けたらうれしく思います。

優秀賞 SeeLock 株式会社CIJ

(常時(四六時中) 画像を見て 施錠を検知する アプリ)

カメラとRaspberry PiのAIによる画像認識で、錠の状態を監視し、状態の変化に応じて開錠・施錠を利用者のLINEに通知するアプリ。画像認識のための機械学習は高速CPUを使えるGoogle Colaboratoryで実施しました。

優秀賞 本心をろっくおん デジタルコム株式会社

(自分の気持ちを分析できる、声で付ける日記)

スマホに向かって喋った声から怒り、平常、喜び、元気、悲しい感情を分析し、日記形式で記録するアプリ。自分の感情を日々記録し続けることで、心の健康状態を管理するアプリを開発しました。

株式会社アイティサーフ 安齋健志



優秀賞 CIJ



優秀賞 デジタルコム

株式会社村田製作所 みなとみらいイノベーションセンター見学会

開催日：2022年12月9日(金)
横浜市交流委員会

村田製作所みなとみらいイノベーションセンターの見学会を開催しました。訪問前は、村田製作所と言えば、CMなどで目にする自転車に乗っているロボットや、高い技術力のインテリジェンスなグローバル企業という印象がありました。主な製品としては、大きさは世界最小ながら、最大の静電容量を持つコンデンサです。0.25×0.125mmとまるで砂粒の大きさでした。思わず量り売りですか？と訊ねてしまいました。コンデンサはスマートフォンでは約1000個、自動車では約8000個使われています。シェアは世界市場で約40%。みなとみらいには、さまざまな分野の先端テクノロジーが高密度に集結しており、同社は革新的な技術でリードし、新たなビジネスの領域を生み出す



役割を担っています。技術でリードし、「世界を止めない」という気概と勢いを感じました。一方、子ども向け科学体験施設mulabo!では、科学の面白さを知り興味を持ってもらうためのクイズやゲームなどを楽しむことができます。今回案内していただいた方々は皆さん心地よい関西弁を話されていて、訪問前の印象とは異なりとても温かい空気に包まれた見学会となりました。最後にmulabo!では、子どもたちに混ざり白熱する視察団の姿がとても印象的で、スコアボードにその日の参加者のスコアが表示されると、その日一番の大盛り上がりでした。なんと！1位は・・・当社の代表高橋でした。

株式会社ネットフォレスト 三上晃弘

高齢者雇用・活躍に関する座談会【「ワタシ」ならいつまで働ける!?】

開催日：2022年12月13日(火)
女性活躍ダイバーシティ委員会

今回の座談会のテーマは表題に加えて「生涯現役社会を見据えた働き方について、現役のパイプライン社員の働き方・話を参考に考えてみよう!」というサブテーマをベースに開催しました。

現役パイプライン世代のディスカッションでは、技術系スキルを持っている人は頭がしっかりしていればいつまでも働ける(企業の需要があれば)が、年齢を重ねてくると得手不得手関係なく管理職にさせられてモチベーションが下がってしまうなどの事が多いので、管理職になるスキルパス、専門職になるスキルパスなど、複数あるのが良いのではないかという意見があげられました。加えて上司が年下になった場合などは、うまく折り合いをつけていくコミュニケーション能力も必要とのことでした。現役パイプライン世代の方々に対して「モチベーションを維持して働き続けるためにどうすればよいのか?」「貯蓄はどのくらい必要か?」など将来に向けての現実的な質問があげられました。今回の座談会

では現役パイプライン世代の方のリアルな意見を聞くことができる良い機会となりましたが、「60歳以降は働きたくない」という意見があり、超高齢化社会を担っていく人材が働き続けたい、そう思える環境を整えていくことが重要だと感じられる座談会でした。



株式会社エーアイネット・テクノロジー 松尾 聡

第40回社内教育に関する情報交換会

開催日：2022年12月14日(水)
教育研修委員会



今回の情報交換会は「神情協の教育研修担当事業者との意見交換会」と題して、神情協の教育研修担当事業者下記7社の担当者より、今年度実施した教育研修の状況や来年度実施

する教育研修について紹介いただくとともに、各事業者で独自に実施している研修などについても紹介いただきました。

◎株式会社日本コンサルタントグループ

ニココンと知り合えて運が向いてきたと喜んでもらえるよう、企業の目指すビジョンや戦略を実現させることに全力でお手伝いいたします。

◎一般社団法人日本産業カウンセラー協会

日本産業カウンセラー協会は、メンタルヘルス、キャリア、職場の人間関係などの課題に向け、即実践できる研修で皆様を応援いたします。

◎株式会社アルファ・ウェーブ

当社の研修は、サイバーセキュリティの「知識」を学び、それ

を「実践」するワークショップ形式です。サイバーセキュリティの本当のスキルが身に付きます!!

◎株式会社CCNグループ

言語・非言語のコミュニケーションをメインテーマに、実務で即実践できるワークショップ型研修を提供します。

◎株式会社データプロセスサービス

当社は45年以上の開発実績がある技術者集団。実践に役立つ「技術スキル」と成長を続ける技術者になるための「ヒューマンスキル」を習得することができます。

◎株式会社アイテック

IPAの情報処理技術者試験対策教育会社として民間第1号のアイテック。資格対策はもちろん、PM教育からDX関連教育まで、IT技術者様向けの教育全般ご相談ください!

◎株式会社シンクスバンク

35年を超える教育実績! 1名から、いつでも、校舎を選べる個別指導のIT研修と多彩な講師によるビジネス研修をご提案可能。

なお、開講予定講座を協会ホームページに掲載しました。全講座お申し込み可能です。是非、社内教育に活用ください!!

<https://www.kia.or.jp/e-training/>
事務局



シリーズ会員企業紹介

■株式会社アプトシステム

設立から26期目を迎える当社は、製造業、物流業、倉庫業、建設業などの受託システム開発や、基幹システム（ERP製品）の開発支援などを多く手掛けております。また自社製品システムの開発・販売・保守も同時に行っておりま

しました。
ここ数年では、自社製品のCLOUD化と販売を積極的に行っております。

チケット販売サービス、建物老朽化サービスなどは、AWSに代表されるようなCLOUD環境でお客様へサービスを提供しております。

また、新たに不動産情報サービスなど次期商品の開発なども行っております。

営業チームと開発チームが一体となってお

客様のご要望を迅速に取り入れながら常に最新化し、その中で培われている技術・ノウハウを社員と会社が共有して高いサービスを提供しています。お客様のみなさん社員の物心両面の幸せを追求することを目的として事業を行っております。



設立：1997年11月7日

資本金：3,000万円

売上高：5億円

社員数：40名

住所：横浜市神奈川区鶴屋町2丁目26番地4号
第三安田ビル3階

Tel：045-534-8883

URL：https://www.aptsys.co.jp/

■アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社

私どもは、2021年6月末に株式会社DTSのグループ会社として、新たな組織で歩み出しております。

幅の広いお客様層へ、システム及びLAN-WANネットワークの設計、構築、運用、管理をコアコンピタンスとしております。また、建設業のライセンスを有し、物理層の電気通信工事・現場環境の調査から運送・展開（組立）・設置・疎通確認・機器引上・リサイクルに至るまでをカバーし、ネットワーク基盤構築業務をワンストップで対応しています。

特に全国への展開（デリバリー）は、23年間のメガバンク様営業店に対するサービスを継

験値として持ち、先進的な（AR技術など）スキルに裏打ちされた豊富なソリューションをご提供させて頂いております。

セキュリティソリューションとしては、ランサムウェア対策のNeuShieldという製品をご提供しています。ゼロトラスト製品群と以下、URLを一度ご確認ください。

<https://www.inetrelly.co.jp/security/neushield/>

横浜で起業して23年、何卒、宜しくお願い申し上げます。

SDGsのゴールを目指して、未来の地球を子供達に残していけるように頑張ります。



設立：2000年12月12日

資本金：7,600万円

売上高：13億8千万円

社員数：95名

住所：東京都中央区日本橋箱崎町1番13号
アールビルWEST 4階

Tel：03-6892-0311

URL：https://www.inetrelly.co.jp/

■株式会社オルトス

はじめまして！株式会社オルトスの金山と申します。

弊社は異国情緒あふれる横浜で創業21年目を迎えるソフトウェア開発会社です。従業員数は15名程でSES事業がメインではありますが、AWSを利用して自社サービス（MEETUS）を展開することにも挑戦しています。今後も企業理念である「当たり前を変える」を実践し、自分たち自身もお客様と共に成長していく所存です。

そして私たちは人と人の繋がりを大切に、関わるひとりひとりの人生を応援しあえる、そんな会社にしていきたいと思っています。

コロナ禍で世界はあまりにも突然に変わって

しましたが、「リアルに勝る共感の場はない」という事実が際立っただけのような気がします。

リモートワーク？メタバース？？もちろん便利だと思います。その良さも取り入れてまいります。しかし、大切なのはリアルコミュニケーションではないでしょうか！！

神情協の会員の皆さま、人間の絆をもとにITでよりよい社会をともに築いていきましょう！機会がありましたらカジュアルに情報交換させていただけると嬉しいです。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



設立：2002年5月1日

資本金：1000万円

売上高：1億2千万円

社員数：15名

住所：神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-20-3
第5安田ビル5階

Tel：045-316-1567

URL：https://www.orthos.co.jp/



(一社)日本産業カウンセラー協会 神奈川支部

働く人と組織を支える

私たちは、神情協の皆様とともに、多彩な環境で働く人たちが抱える問題を、自らの力で解決できるように支援できる専門家を育成し、メンタルヘルス対策・キャリア形成・職場における人間関係開発・職場環境改善等の支援を通じて、人と組織の健全な活性化に寄与していきます。

ハラスメントが発生している

退職者が多い、休職者が発生

経営層と一般層の間に壁がある

社員研修を実施したい

相談室を設けたい

キャリアコンサルティングをしたい

ハラスメント相談窓口、ハラスメント行為者対策

カウンセリング（訪問、電話、Web、SNS、相談室）

リテンション対策

コンサルティング（職場環境改善、人間関係開発等）

研修（メンタルヘルス、キャリア、ハラスメント、コミュニケーション等）

産業カウンセラー養成講座（横浜・川崎・厚木）

キャリアコンサルタント養成講習、各種キャリアコンサルティング

お気軽にお問合せください。

☎ 045-264-9521

受付時間 9:00-17:00（土日祝除く）

横浜市中区桜木町 3-8 横浜塩業ビル 6 階



新会員 INFORMATION

■正会員

インバースネット株式会社
横浜市神奈川区新浦島町

代表 山本 慶次郎

<https://www.inversenet.co.jp/>
TEL 045-451-2411

業務 自社製パーソナルコンピュータ・モバイル機器の開発、製造、販売
中古機器・機械の査定・買取・卸売・

小売・設置作業・スクラップ処理
産業廃棄物回収・運搬・他

■正会員

DELE株式会社

横須賀市光の丘

代表 生田 篤識

<https://www.data-concierge.jp/>

TEL 046-854-5484

業務 データ消去関連業務

■正会員

アーネスト開発株式会社

横浜市鶴見区上の宮

代表 渡辺 進二

<https://earnestdevelopment.co.jp/>

TEL 045-585-6437

業務 SES事業

■正会員

アタラキシアディーエックス株式会社

東京都港区港南

代表 住田 賢司

<https://ataraxiadx.com/>

TEL 06-6133-4563

業務 ITコンサルティング／オフショア開発支援／DX企画支援／WEBマーケティング

広報委員会コラム

3年振りに開催された賀詞交歓会。黒岩知事が「コロナ禍でできない尽くしの3年にITの力を実感した」とおっしゃいました。確かに様々な変化がありましたが、一番の変化はリモートワークではないでしょうか。これまで在宅勤務の推進が叫ばれながら実施している企業は少なかったように思います。ところが非接触・非密集・移動制限が発出され、あつという間に「仕事は在宅で」「打ち合わせはリモートで」が当たり前の世の中になりました。私自身は、約20年前から地方の協力者に仕事の依頼や、帰省先で仕事をすることもありましたが、そのことを敢えて言えない雰囲気がありました。結婚、子育て、介護など、仕事との両立が難しいと離職者も多く、在宅勤務ができれば…と思ったものでした。

それがこの2年で当たり前のこととなったのです。インターネット環境があれば場所を選ばず仕事ができると郊外や地方への移住者も増えました。

やんことなき理由で、ここ半年ほとんどの時間を実家で過ごしている私も、今では堂々と「実家にいます」と言えるようになりました。

ただ、賀詞交歓会で久しぶりにお会いした方たちの明るい声や目尻の下がった表情を見ると、直接に顔を合わせてのコミュニケーションに勝るものはなく、一日も早くコロナ前の当たり前だった生活を取り戻し、マスクを外して笑いあえる日が訪れることを願ってやみません。

広報委員会 鷹嘴美保子